

# 令和3年度(2021年度) 滋賀県総合教育会議発表資料

令和3年(2021年)12月3日  
第3回滋賀県総合教育会議  
資料 4

## ICTの活用について ～ICTでつながる教育・広がる世界～

滋賀県立草津養護学校  
教諭 大塚 紳史



# 本校について

草津養護学校

びわこ学園部

小学部

中学部

高等部

全校生徒	369名
びわこ学園部	3名
小学部	145名
中学部	90名
高等部	131名

(R3.5.1現在)



# びわこ学園部について

- 本校舎に隣接するびわこ学園医療福祉センター草津に教室が併設されている。
- びわこ学園部の児童生徒（小2・小6・中1）は、毎日病棟から通っている。
- 小2の児童は、病棟でのベッドサイド学習（担任が病棟に出向いてベッド側で学習を行う）を基本とし、月1回は教室に登校して3名揃って学習に取り組んでいる。
- 医療的ケア（痰の吸引、経鼻経管栄養の注入など）により、学習内容の設定に難しさがある。



# 児童生徒の実態について

- びわこ学園部の児童生徒は肢体不自由を主たる障害とする重度重複障害で3名とも人工呼吸器による呼吸管理等を必要としている医療的ケア児である。
- 主な診断名は、低酸素脳症や骨異形成症などであり、てんかん発作や熱性けいれんの頻度も高い。
- コミュニケーションについては、視線や表情、舌を動かしたり、声を出したりして思いを表現することができている。
- ストレッチャータイプの車いすに身体が横になった状態で学習に取り組んでいる。



# ICTの活用について

## ① ICTを活用した遠隔授業

- ・ 『Zoom (Teams) 』を活用した合同授業
- ・ 『Zoom (Teams) 』を活用した授業参観

## ② ICT機器を活用した教科学習

- ・ デジタル絵本
- ・ アプリケーション（効果音・アニメーション）
- ・ 補助具等の活用（入出力支援機器〔ポイントタッチスイッチなど〕）
- ・ ビデオ記録による活動の振り返り



# ① ICTを活用した遠隔授業

- Zoom (Teams) のアプリケーションを使ってクラスや他クラスの友だちと朝の会等の合同学習を今年度より実施している。
- 活動の中で名前を呼んでもらったり、一緒に歌ったりすると嬉しそうな表情が見られた。



## ② ICT機器を活用した教科学習

- デジタル絵本やアプリケーションを活用することで、様々な音や映像を楽しんだり、学習の映像を観ることで活動の雰囲気を感じているような様子が視線や表情などからうかがえる。
- 姿勢や身体の動きに制限があるが、入出力支援機器（ポイントタッチスイッチなど）を活用することで、道具を操作し直接働きかけ、相手に思いを伝えるコミュニケーションの手助けとなる。



# 今後の取組について

- びわこ学園部の児童生徒にとって、ICT機器の活用は有効であると考えます。身体面における活動の制限があり、生活面において気軽に外に出ることができない状況であることからICT機器を活用することで人とのつながりを感じることができたり、間接体験や擬似体験を取り入れることで自分の力で物や人に働きかけたりする経験を支援することが可能だと考えます。
- ICT機器はひとつのツールであり、児童生徒の実態にあわせて有効活用するためにも、使用方法や授業の展開について改善していくことが大切である。
- 児童生徒が学ぶ立場として“何を求めているのか”を考えてICT機器を活用していくことが大切である。

